

NYマーケットレポート (2020年1月29日)

2020年1月29日 (水)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%
日経平均	23,379.40	+163.69	-1.17%
ハンセン指数	27,160.63	-789.01	-3.65%
上海総合	休場		#VALUE!
韓国総合	2,185.28	+8.56	-0.56%
豪ASX200	7,031.52	+37.07	5.20%
シンガポールST	3,182.57	+1.32	-1.25%
インドSENSEX	41,198.66	+231.80	-0.13%

* 中国市場は春節のため休場

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	109.08	109.26	108.98
EUR/JPY	120.05	120.42	119.89
GBP/JPY	141.97	142.35	141.72
AUD/JPY	73.64	74.01	73.45
EUR/USD	1.1006	1.1028	1.0992
BRL/JPY	25.608	25.997	25.590
RUB/JPY	1.731	1.747	1.727

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%
英FT100	7,483.57	+2.88	-0.78%
仏CAC40	5,954.89	+29.07	-0.39%
独DAX	13,345.00	+21.31	0.72%
スペインIBX35	9,546.70	+62.50	-0.03%
イタリアFTSE MIB	24,164.73	+137.10	2.80%
トルコ・イスタンブール100	119,689.48	-112.16	4.60%
ロシアRTS	1,570.65	-1.58	1.40%
南ア全株指数	56,370.72	+622.48	-1.25%

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1570.40	+0.60	3.11%
NY 原油	53.33	-0.15	-12.66%
CBOTコーン	384.25	-2.25	-0.90%
CRB指数	172.954	-0.842	-6.91%
ドル指数先物	98.051	+0.033	1.72%
VIX指数	16.39	+0.11	18.94%

Crypto Currency	本日	前日
CME Bitcoin(先物・期近)	9365	9070
Ripple (BSTP)	0.237	0.236
Ethereum (BSTP)	175.72	172.11
Bitcoin Cash	382.83	369.20

米国主要株価	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	28,734.45	+11.60	0.69%
S&P500	3,273.40	-2.84	1.32%
NASDAQ	9,275.16	+5.48	3.37%
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	17,511.75	+10.87	2.63%
メキシコ・ボルサ指数	45,132.60	+414.66	3.66%
ブラジル・ボベスパ指数	115,384.84	-1094.13	-0.23%

*一部暫定値

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.131%	-0.128%
5年債	-0.134%	-0.131%
10年債	-0.039%	-0.039%
30年債	0.370%	0.379%

欧州国債利回り	本日	前日
ドイツ10年債	-0.377%	-0.341%
英国 10年債	0.516%	0.552%
フランス 10年債	-0.120%	-0.080%
米国債利回り	本日	前日
2年債	1.413%	1.463%
3年債	1.389%	1.454%
5年債	1.406%	1.479%
7年債	1.500%	1.571%
10年債	1.584%	1.656%
30年債	2.039%	2.112%

1/30 経済指標スケジュール

09:30	【オーストラリア】4Q輸出物価指数
11:30	【シンガポール】4Q失業率
15:00	【南アフリカ】12月マネーサプライM3
15:00	【南アフリカ】12月民間部門信用
17:00	【スイス】1月KOF先行指数
17:30	【香港】12月貿易収支
17:55	【ドイツ】1月失業率
17:55	【ドイツ】1月失業者数
18:30	【南アフリカ】12月生産者物価指数
19:00	【欧州】12月失業率
19:00	【欧州】1月消費者信頼感
19:00	【欧州】1月業況判断指数
19:00	【欧州】1月経済信頼感
19:00	【欧州】1月鉱工業信頼感
19:00	【欧州】1月サービス業信頼感
21:00	【英国】政策金利発表
21:00	【英国】英中銀議事録
21:00	【英国】1月英中銀四半期インフレ報告
21:00	【南アフリカ】12月財政収支
22:00	【ドイツ】1月消費者物価指数
22:30	【米国】4Q GDP
22:30	【米国】4Q個人消費
22:30	【米国】新規失業保険申請件数
22:30	【米国】失業保険継続受給者数

1/30 主要会議・講演・その他予定

- ・ 中国市場休場 (春節)
- ・ カーニー英中銀総裁 会見
- ・ バイトマン独連銀総裁 講演

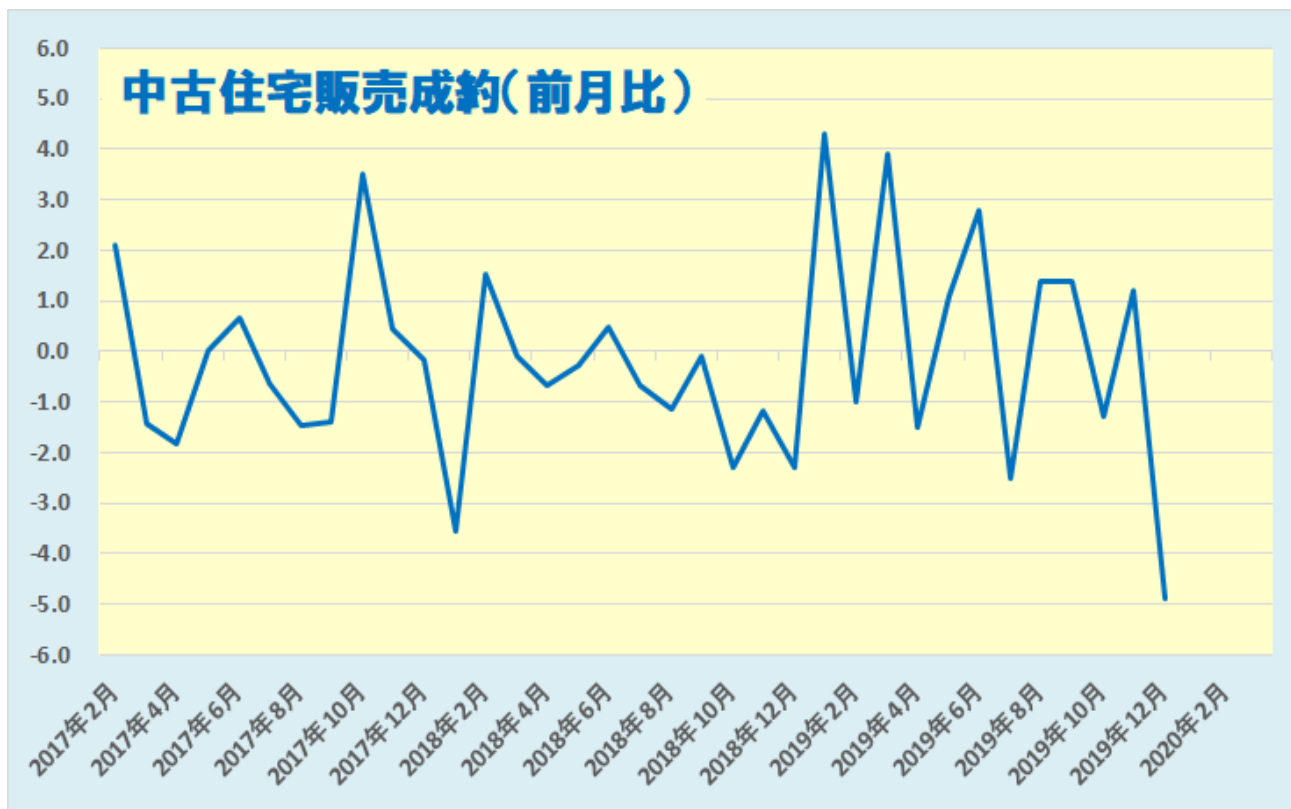
NY 市場レポート

主要な米経済指標の結果

12 月中古住宅販売成約（前月比） -4.9（予想 0.5%・前回 1.2%）

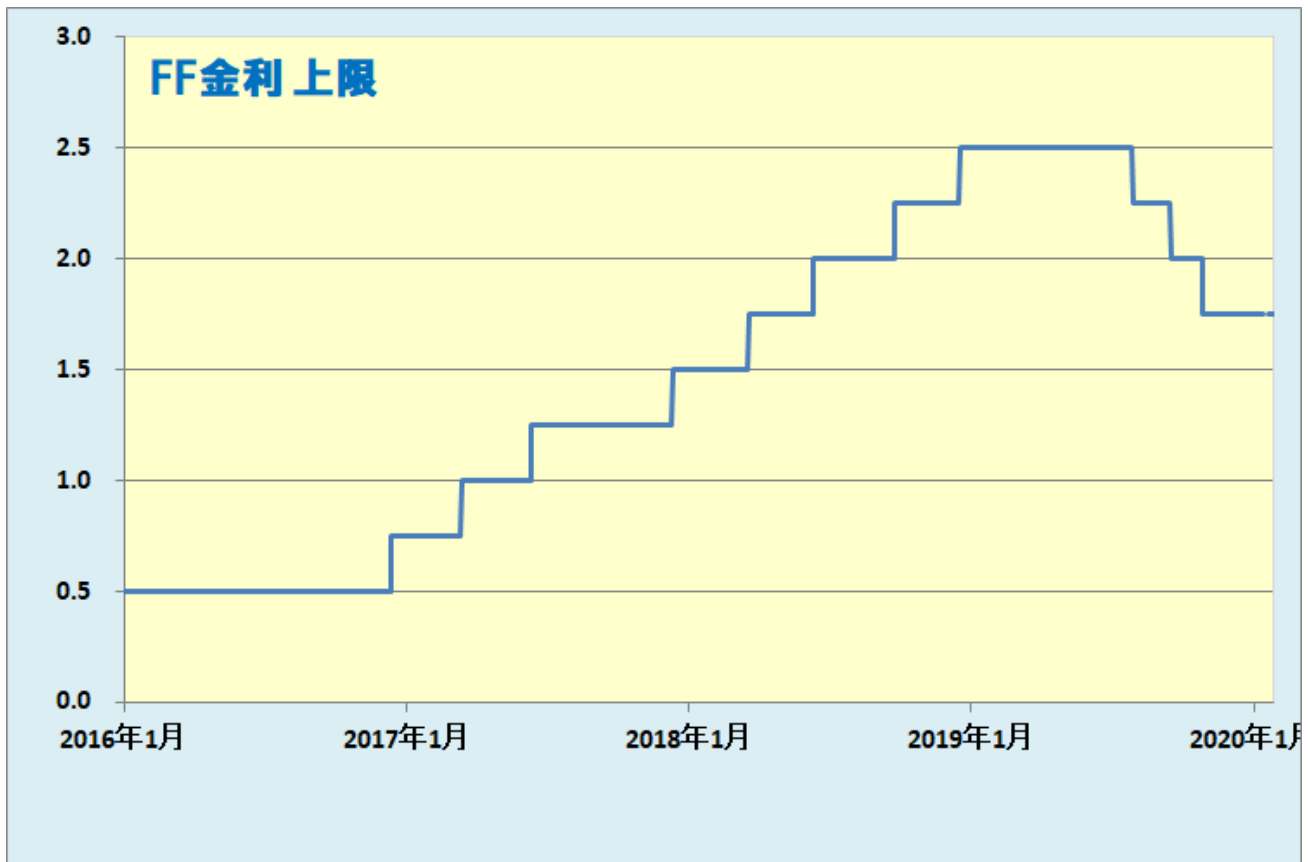
12 月中古住宅販売成約（前年比） 6.8%（予想 10.3%・前回 5.6%）

12 月の米中古住宅仮契約指数は、市場予想を大幅に下回る結果となり、2010 年 5 月以来の大きなマイナス幅となった。地域別では、南部が-5.5%（-0.2%）、西部が-5.4%（+5.5%）、北東部が-4.0%（前月-0.1%）、中西部が-3.6%（+1.0%）だった。在庫水準の低迷が要因と指摘がされた。仮契約は通常 1-2 ヶ月以内に本契約に移行するため、仮契約指数は中古住宅市場の先行指数とされる。



データを基に SBILM が作成

FOMC 政策金利 1.50%–1.75% (予想 1.50%–1.75%・前回 1.50%–1.75%)



データを基に SBILM が作成

FOMC 声明

- ・ F F 金利誘導目標を 1.50–1.75% のレンジで据え置き。
- ・ 労働市場は力強さを維持し、経済活動は緩やかなペースで拡大が示唆された。
- ・ 雇用の伸びはこの数ヵ月ならしてみると堅調、失業率は低い水準が続いた。
- ・ 家計支出は緩やかなペースで増加、企業の設備投資と輸出は弱いまま。
- ・ 全般的なインフレ率、食品とエネルギー以外のインフレ率は 2% を下回っている。
- ・ インフレ調整指標は引き続き低水準、中長期的なインフレ期待の指標はほぼ変わっていない。
- ・ 最大限の雇用確保と物価安定の促進を目指す。
- ・ 経済活動の持続的な拡大、力強い労働市場、2% 目標にインフレ率が戻るのを支えるために適切と判断。
- ・ FF 金利誘導目標レンジの適切な道筋を精査、世界的な動向や抑制されたインフレ圧力など経済見通しに関する今後の情報が示唆するものを引き続き注視する。

パウエル FRB 議長の主な発言

- ・ 新型コロナウイルスなど不確実性は残る
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大による影響を注意深く監視する
- ・ ウイルスは中国や世界で経済活動の阻害要因に
- ・ 現在の金利スタンスは適切
- ・ 今後数ヵ月でインフレは 2%に近づくと予想
- ・ Tビル購入する唯一の目的は政策の実行

ダウ平均、ナスダックは小幅続伸、S&P500 は小幅反落

米株式市場では、第4四半期の米企業決算の内容が好感され、主要株価指数は堅調な動きとなった。米FRBによるFF金利の誘導目標は予想通り据え置きだったことから反応は限定的だった。ただ、パウエルFRB議長の会見を受けて徐々に上げ幅を縮小した。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比221ドル高まで上昇した。終盤には上げ幅を縮小し、11ドル高で終了した。一方、ハイテク株中心のナスダックは5ポイント高で終了、S&P500指数はマイナス圏まで下落して小幅安で終了した。



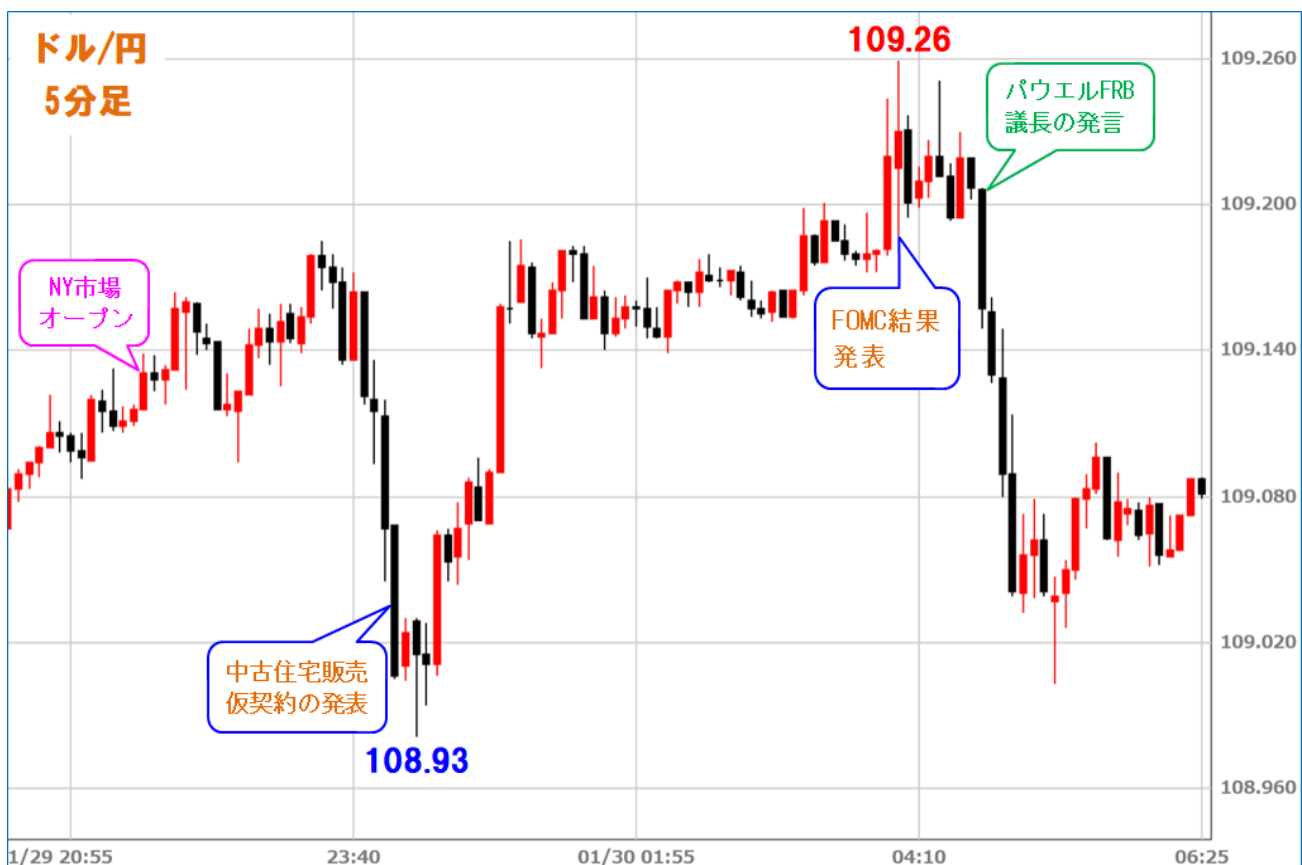
データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	素材	5.32%	1	DOW	5.30%
2	テクノロジー	0.77%	2	アップル	2.09%
3	資本財	0.11%	3	マクドナルド	1.92%
4	消費者サービス	0.09%	4	ボーイング	1.72%
	通信サービス	-1.93%		3M	-2.16%

データを基に SBILM が作成

ドル/円は 108 円台では底固い動き

NY 市場では、欧州市場の流れを引き継ぎ、ドルは序盤から底固い動となった。FOMC の結果発表とパウエル FRB 議長の会見を控えた様子見ムードや、新型コロナウイルスの拡大懸念も根強いことから、上値は限定的だった。さらに、12 月中古住宅販売仮契約が前月比ベースで市場予想を大きく下回り、2010 年 5 月以来の大きなマイナスとなったことに加え、上昇して始まった米主要株価指数が上げ幅を縮小したことも加わり、ドル円・クロス円軟調な動きとなった。ドル/円は一時 108.98 まで下落したものの、値頃感の買い戻しもあり、底固い動きとなった。その後は、米主要株価指数が再び堅調な動きとなったこともあり、ドル円・クロス円は値を戻した。注目の FOMC の結果発表では、予想通り FF 金利の誘導目標が据え置かれ、ドル/円は 109.25 まで上昇したものの、アジア時間序盤の高値である 109.26 までは届かなかった。その後、パウエル FRB 議長の会見で、ウイルスは中国や世界で経済活動の阻害要因になると、新型コロナウイルスの感染拡大による中国や世界経済の影響に言及したことから、主要株価指数が徐々に上げ幅を縮小し、ドル円・クロス円も軟調な動きとなった。さらに、米 10 年債利回りが 1.577% まで低下し、昨年 10 月以来約 3 ヶ月半ぶりの低水準となったことも影響し、ドル/円は 109.00 まで下落した。ただ、この近辺では底固い動きとなり、109 円台を維持して終了した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。